



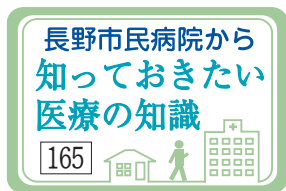
横山 俊一郎

形成外科医師、四肢外傷・機能再建センター医師 専門は形成外科

以前より目が開けづらくなった、まぶたが垂れ下がって視野が狭くなった、眠たそうな目つきに変わった—などの症状がある人は、眼瞼下垂症かもしれません。

眼瞼とはまぶたのこと、眼瞼下垂症とはまぶたが上がらなくなる

症状が進行すると、おでこの筋肉を使って



る病気です。

顔の老化の原因にも

原因は多くの場合、

上まぶたを持ち上げる筋肉（眼瞼挙筋）が引き伸ばされたり、筋肉の付着部が緩んだりすることです。加齢によ

って誰でも多少はまぶ

たが下がってきませんが

花粉症やアトピー性皮膚

膚炎などで目をよくこ

する癖のある人や、コ

ンタクトレンズを長期

間使用している人には

このような「腱膜性眼

瞼下垂症」が多く見ら

れます。

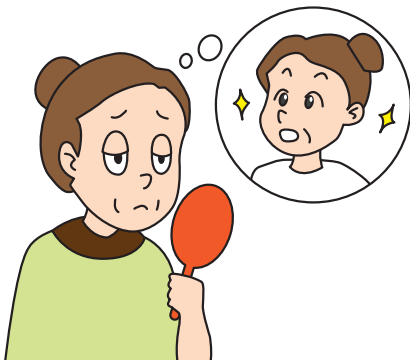
症状が進行すると、

おでこの筋肉を使って

形成外科医師、四肢外傷・機能再建センター

医師 専門は形成外科

眼瞼下垂症



まぶたが上がらなくなる病気

単に開けられるようになり、まぶたが二重になります。個人差はありますが、手術後2週間程度で高度な腫れや内出血は引いてきます。完全に傷跡が落ち着く

よく見極める必要があります。

目を開こうとするために眉の位置が上がり、おでこのしわが増えます。上まぶたが落ちく

ぼんだり、左右の目の大きさに違いが生じたりすることもあります。

これらは、顔の老化現象の一つです。慢性的に目の周りの筋肉を使

うようになることで、眼精疲労、頭痛、肩凝りも引き起こします。

自然に回復することは少ないため、まぶたを上げる手術で治療します。日常生活に支障があり、

1 泊手術で治療

腱膜性眼瞼下垂症は

自然に回復することは

少ないため、まぶたを

上げる手術で治療し

ます。日常生活に支障

があり、

手術で改善が見込ま

れる場合は、健康保険

で手術ができます。

手術は通常、局所麻

酔で行い、上まぶたを

切開します。当院では、

外れたり緩んだりして

しまった挙筋腱膜を正

常な位置に縫合し直す

のに加えて、たるんだ

分の皮膚を切除します。

手術時間は1時間から

1時間半程度で、1

泊の入院が必要です。

手術後はまぶたが簡

単に開けられるように

までは半年程度かかり

ます。

時間の経過とともに

自然なまぶたになって

いきますが、目元の変

化で顔の印象が変わる

ことが多いため、担当

の医師とよく相談し、

納得した上で治療を受

けることが大切です。

眼瞼下垂症にはほ

かに、生まれつきまぶ

たを上げる筋肉の発達

が悪いもの（先天性）、

けがで神経や筋肉が損傷

することで起こるもの

（外傷性）、重症筋無力

症や筋ジストロフィー

などほかの病気の一症

状として現れるものな

どもあります。これら

は腱膜性眼瞼下垂症と

治療法が異なるため、

よく見極める必要があ

ります。